

契約外秘

e-PANEL ソフトウェア

MENU 仕様書

2008年	01月	08日	Rev1.19
2008年	10月	03日	Rev1.20
2008年	11月	25日	Rev1.21
2008年	12月	19日	Rev1.22
2009年	08月	05日	Rev1.23
2013年	09月	17日	Rev1.24
2015年	07月	15日	Rev1.25
2016年	05月	18日	Rev1.26
2019年	02月	18日	Rev1.27
2019年	04月	23日	Rev1.28

ワールドピーコム株式会社

承認	検印	検印	検印	担当



## 改訂履歴

改訂版	年 月 日	頁	改 訂 内 容	記印	検印
1. 00	2004. 02. 17		初版		
1. 01	2004. 03. 24		大分類項目に ScrToFrmNo を追加。		
1. 02	2004. 03. 25		商品フレーム情報に TaxPriceText、 TaxPriceFontSize、TaxPriceTextFrame を追加 商品詳細情報に SoldOutFlg を追加		
1. 03	2004. 03. 26				
1. 04	2004. 04. 01		3. 1. 1. 2、3. 2. 1. 2 にて、メッセージ画面案内画像を追加、戻るボタン画像の削除 3. 1. 1. 6、3. 1. 1. 7、3. 2. 1. 6、3. 2. 1. 7 にてアイテム No を削除 3. 1. 2. 6、3. 1. 2. 7 にて解説文修正 3. 1. 1. 6、3. 2. 1. 6 にて Process の値（注文）を追加		
1. 05	2004. 04. 05		3. 1. 1. 2、3. 2. 1. 2 にて、放題関連の項目を削除。 3. 1. 1. 2、3. 2. 1. 2 にて、大分類放題用背景画像を追加。 3. 1. 1. 3、3. 2. 1. 3 にて、Property、FreeFlg の変数定義を追加、変更。		
1. 06	2004. 04. 08		1. 4. 1 色変数対応表の追加 3. 1. 1. 7、3. 2. 1. 7 にて、商品名背景色を追加		
1. 07	2004. 04. 10		3. 1. 1. 1 にて SubCodeInfoNum 値の追加 3. 1. 1. 9、3. 2. 1. 9 にて階層情報項目を追加 その他		
1. 08	2004. 04. 12		3. 1. 1. 8、3. 2. 1. 8 にて、メニュー属性を追加 3. 2. 1. 10、3. 2. 1. 11、3. 2. 1. 12 にて、サブ関連の追加。		
1. 10	2004. 04. 23		3. 1. 1. 1 にて各種項目の追加 3. 1. 1. 2 にて、店員呼び出しアドレスの削除 3. 1. 1. 2、3. 2. 1. 2 にて会計確認戻るボタンの削除、info 画像 戻るボタンの追加、下フレーム戻るボタン画像の追加		
1. 11	2004. 04. 23		3. 1. 1. 8、3. 2. 1. 8 にて、税込み価格を追加		
1. 12	2004. 04. 26		3. 1. 1. 2、3. 2. 1. 2 にて品切れボタン画像の追加、各種放題終了メッセージ画像の追加、品切れ注文エラー背景画像の追加、 品切れ注文確認 OK ボタンの追加		
1. 13	2004. 05. 01		3. 1. 1. 7 の NameText サイズの変更 3. 1. 1. 8 の Name、InfoComment サイズの変更		
1. 14	2004. 05. 17		3. 1. 1. 8、3. 2. 1. 8 にてメニュー属性の変更、サブメニューフラグの変更、最低注文可能数の追加、指示ナンバーの追加 3. 1. 1. 2、3. 2. 1. 2 にてメッセージ画面起動中画像の削除		
1. 15	2004. 06. 12		3. 1. 1. 5、3. 2. 1. 10 にて、表示タイプの追加。 3. 1. 1. 8、3. 2. 1. 8 にてサブメニューフラグ属性追加、サブ商品セット数追加、セット商品コード&アドレス追加。		
1. 16	2004. 09. 01		3. 1. 1. 3、3. 2. 1. 3 にて、属性の追加及び削除。		
1. 17	2005. 09. 21		3. 1. 1. 6、3. 2. 1. 6、3. 2. 1. 11 にて、 Process の値(動画インフォ)追加		
1. 18	2007. 02. 14		3. 1. 1. 6、3. 2. 1. 6、3. 2. 1. 11 にて Process の値 6、10～14 を追加 3. 1. 1. 8、3. 2. 1. 8 にてサブメニューフラグ 4 を追加		

改訂版	年 月 日	頁	改 訂 内 容	記印	検印
1. 19	2008. 01. 08	11, 13, 28, 32	サブメニューリンク機能関連の仕様追加		
1. 20	2008. 10. 01	10, 27	フリーフレーム属性の追加		
1. 21	2008. 11. 25	11, 28, 37	商品セルの処理の選択機能の変更		
1. 22	2008. 12. 19	13, 32	商品詳細情報でサブメニューフラグ属性の追加		
1. 23	2009. 08. 05	11, 37	商品セルの処理の選択機能の拡張		
1. 24	2013. 09. 17	3, 10, 28, 36	3. 1. 1. 1. ヘッダ情報の更新 3. 1. 1. 6. 商品セル表示情報、サブ商品セル情報の更新 3. 2. 1. 11. サブ商品セル表示情報の更新	森田	
1. 25	2015. 07. 15	10, 28, 36	3. 1. 1. 6. 商品セル表示情報、サブ商品セル情報の更新 3. 2. 1. 6. 商品セル表示情報の更新 3. 2. 1. 11. サブ商品セル表示情報の更新	森田	
1. 26	2016. 05. 18	10, 36	3. 1. 1. 6. 商品セル表示情報、サブ商品セル情報の更新 3. 2. 1. 11. サブ商品セル表示情報の更新	森田	富本
1. 27	2019. 02. 18	10, 36 31, 32	3. 1. 1. 6. 商品セル表示情報、サブ商品セル情報の更新 3. 2. 1. 11. サブ商品セル表示情報の更新 誤記修正	森田	高橋 富本
1. 28	2019. 04. 23	10, 11, 36, 37	3. 1. 1. 6. 商品セル表示情報、サブ商品セル情報の更新 3. 2. 1. 11. サブ商品セル情報の更新	森田	高橋 富本



余白



# 目次

1. はじめに.....	1
1.1. 文書の目的.....	1
1.2. 上位文書.....	1
1.3. 言葉の定義.....	1
1.4. その他定義.....	1
1.4.1. 色変数対応表.....	1
2. 環境.....	2
2.1. 動作環境.....	2
2.2. 開発環境.....	2
3. メニウくんDB.....	3
3.1. メニウくんDBの端末内定義.....	3
3.1.1. 端末内で定義される構造体.....	3
3.1.1.1. ヘッダ情報.....	3
3.1.1.2. 基本情報.....	4
3.1.1.3. 大分類項目情報.....	7
3.1.1.4. 中分類項目情報.....	8
3.1.1.5. 小分類項目情報、サブ小分類項目情報、店員呼び出し小分類項目情報.....	9
3.1.1.6. 商品セル表示情報、サブ商品セル表示情報.....	10
3.1.1.7. 商品フレーム表示情報、店員呼び出しセル表示情報.....	12
3.1.1.8. 商品詳細情報.....	13
<del>3.1.1.9. 階層コード、指示ナンバー情報（未使用）.....</del>	<del>15</del>
3.1.2. PC上で作成するファイルイメージ.....	16
3.1.2.1. ヘッダ情報.....	17
3.1.2.2. 基本情報.....	17
3.1.2.3. 大分類項目情報.....	17
3.1.2.4. 中分類項目情報.....	17
3.1.2.5. 小分類項目情報.....	17
3.1.2.6. 商品セル表示情報.....	18
3.1.2.7. 商品フレーム表示情報.....	18
3.1.2.8. 商品詳細情報.....	18
3.1.2.9. 階層コード、指示ナンバー情報.....	18
3.1.2.10. サブ小分類項目情報.....	18
3.1.2.11. サブ商品セル表示情報.....	18
3.1.2.12. サブ商品フレーム表示情報.....	19
3.1.2.13. 店員呼び出し小分類項目情報.....	19
3.1.2.14. 店員呼び出し商品フレーム表示用情報.....	19
3.2. メニウくんDBのCSV定義.....	20
3.2.1. CSV出力方法.....	20
3.2.1.1. ヘッダ情報.....	20
3.2.1.2. 基本情報.....	21

3.2.1.3.	大分類項目情報 .....	24
3.2.1.4.	中分類項目情報 .....	26
3.2.1.5.	小分類項目情報 .....	27
3.2.1.6.	商品セル表示情報.....	28
3.2.1.7.	商品フレーム表示情報 .....	29
3.2.1.8.	商品詳細情報.....	31
<del>3.2.1.9.</del>	<del>階層コード、指示ナンバー情報（未使用） .....</del>	<del>34</del>
3.2.1.10.	サブ小分類項目情報.....	35
3.2.1.11.	サブ商品セル表示情報 .....	36
3.2.1.12.	サブ商品フレーム表示情報.....	38
3.2.1.13.	店員呼び出し小分類項目情報 .....	40
3.2.1.14.	店員呼び出し商品フレーム表示情報 .....	41

## 1. はじめに

### 1.1. 文書の目的

本文書では株式会社ソーワコーポレーションがワールドピーコム株式会社向けに製作するメニューくん向け操作端末（以後「e-PANEL」）で動作する MENU 制御を行うソフトウェア仕様を記述する。

### 1.2. 上位文書

- 「操作端末 製品概要書」（株式会社ソーワコーポレーション）
- 「ソフトウェア要求仕様書 Rev1.0」（ワールドピーコム株式会社）

### 1.3. 言葉の定義

メニューくんDB	商品情報、画面情報等の端末制御に必要な情報
大分類	起動時の最初に表示される最も大元のメニュー群
中分類	大分類から枝分けされたメニュー群
小分類	中分類から枝分けされた商品表示のページ群

### 1.4. その他定義

#### 1.4.1. 色変数対応表

色名	値
黒	1
灰	2
薄灰	3
白	4
赤	5
桃	6
緑	7
黄緑	8
黄	9
薄黄	10
青	11
薄青	12

## 2. 環境

---

### 2.1. 動作環境

1. ハードウェア
  - ・ 端末：SOHWA 製 e-PANEL
  - ・ CPU：日立製 SH3-DSP
  - ・ RAM：128MByte
2. ソフトウェア
  - ・ OS：ミスボ製 NORTi
  - ・ コンパイラ：日立超 LSI 製 HEW2
  - ・ ライブラリ：Swell Softwear 製 PEG

### 2.2. 開発環境

1. Windos2000 日本語版 SP4



## 3. メニューくんDB

メニューくんDBは WindowsPC 上で専用ソフトにより作成し、端末側の仕様に合わせたバイナリ形式の menudb.dat ファイルを作成する。

### 3.1. メニューくんDBの端末内定義

メニューくんDBは端末内で以下のように定義されています。

#### 3.1.1. 端末内で定義される構造体

メニューくんDBは端末内で以下のように複数の構造体として定義され扱われる。  
なお、構造体使用時にはアライメント 1Byte で扱います。

##### 3.1.1.1. ヘッダ情報

【型名】

T\_MENU\_HEAD

【変数】

型名	変数名	解説
unsigned long	FileSize	ヘッダ情報を含む全ファイルサイズ。単位はバイト。
unsigned char	LMenuMax	10 を指定します。使用される最大大分類数。
unsigned char	MMenuMax	12 を指定します。一つの大分類項目に表示可能な最大の中分類数。
char	dmy[2]	ダミー フリーレイアウト小分類画面の 1 セルサイズ（仕変 0267） dmy[0]:横サイズ、dmy[1]:縦サイズ
unsigned long	SMenuNum	全小分類項目数の合計。
unsigned long	ItemCellNum	全商品セル情報項目数の合計。
unsigned long	ItemFrmNum	全商品フレーム情報数の合計。
unsigned long	ItemInfoNum	全商品詳細情報数の合計。
unsigned long	SubCodeInfoNum	全階層コード、指示ナンバー情報数の合計。
unsigned long	SubSMenuNum	全サブ小分類項目数の合計。
unsigned long	SubItemCellNum	全サブ商品セル情報項目数の合計。
unsigned long	SubItemFrmNum	全サブ商品フレーム情報数の合計。

【説明】

端末内でメニューくんDBを解析する際に必要となる値を定義します。

LMenuMax と MmenuMax で指定された値で、後に定義されている

大分類項目情報（T\_LMENU\_INFO）、中分類項目情報（T\_MMENU\_INFO）の数が決定します。

例：T\_LMENU\_INFO[LMenuMax]、T\_MMENU\_INFO[LMenuMax][MMenuMax]

### 3.1.1.2. 基本情報

【型名】

T\_BASIC\_INFO

【変数】

型名	変数名	解説
<b>大分類関連</b>		
char	LMBackScrImg[16]	大分類スクリーン用背景画像ファイル名。
unsigned long	LMBackScrImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	LMFBackScrImg[16]	大分類専用(時間帯、放題)スクリーン用背景画像ファイル名。 未使用の場合は 0 を指定します。
unsigned long	LMFBackScrImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	LMCKOrderBtnImg[16]	大分類スクリーン用会計確認ボタン画像ファイル名。
unsigned long	LMCKOrderBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	LMUraniBtnImg[16]	大分類スクリーン用占いボタン画像ファイル名。
unsigned long	LMUraniBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	LMAnnaiBtnImg[16]	大分類スクリーン用案内ボタン画像ファイル名。
unsigned long	LMAnnaiBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
<b>小分類関連</b>		
char	MMCMLeftUpImg[16]	広告画像左上ファイル名。
unsigned long	MMCMLeftUpImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MMCMRightUpImg[16]	広告画像右上ファイル名。
unsigned long	MMCMRightUpImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	SMSoldOut6FrmImg[16]	商品 6 フレーム用品切れ画像ファイル名。
unsigned long	SMSoldOut6FrmImg Addr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	SMSoldOut8FrmImg[16]	商品 8 フレーム用品切れ画像ファイル名。
unsigned long	SMSoldOut8FrmImg Addr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	SMSoldOut12FrmImg[16]	商品 12 フレーム用品切れ画像ファイル名。
unsigned long	SMSoldOut12FrmImg Addr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
<b>下フレーム関連</b>		
char	BFBackImg[16]	下フレーム背景画像ファイル名。
unsigned long	BFBackImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	BFStBkImg[16]	初期下フレーム背景画像ファイル名。
unsigned long	BFStBkImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	BFRPageBtnImg[16]	下フレーム右ページボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFRPageBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	BFLPageBtnImg[16]	下フレーム左ページボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFLPageBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	BFTopBtnImg[16]	下フレーム TOP ボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFTopBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	BFCallBtnImg[16]	下フレーム店員呼び出しボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFCallBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	BFCallEndBtnImg[16]	下フレーム店員呼び出し閉じるボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFCallEndBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	BFRvsBtnImg[16]	下フレーム戻るボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFRvsBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)

Char	BFCheckBtnImg[16]	下フレーム注文内容確認ボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFCheckBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	BFCheckEndBtnImg[16]	下フレーム注文内容確認終了ボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFCheckEndBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	BFUpBtnImg[16]	下フレームプラスボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFUpBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	BFDownBtnImg[16]	下フレームマイナスボタン画像ファイル名。
unsigned long	BFDownBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
<b>注文画面関連</b>		
Char	OFBackImg[16]	オーダーフレーム背景画像ファイル名。
unsigned long	OFBackImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	OFUpPageBtnImg[16]	オーダーフレーム上ページボタン画像ファイル名。
unsigned long	OFUpPageBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	OFDownPageBtnImg[16]	オーダーフレーム下ページボタン画像ファイル名。
unsigned long	OFDownPageBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	OFOrderBtnImg[16]	オーダーフレーム注文ボタン画像ファイル名。
unsigned long	OFOrderBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	OFUpBtnImg[16]	オーダーフレームプラスボタン画像ファイル名。
unsigned long	OFUpBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	OFDownBtnImg[16]	オーダーフレームマイナスボタン画像ファイル名。
unsigned long	OFDownBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	OSBackImg[16]	品切れ注文エラーリスト背景画像ファイル名。
unsigned long	OSBackImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
Char	OSOKImg[16]	品切れ注文エラーリスト確認 OK ボタン画像ファイル名。
unsigned long	OSOKImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
<b>会計確認関連</b>		
char	COBackImg[16]	会計確認背景画像ファイル名。
unsigned long	COBackImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	COUPageBtnImg[16]	会計確認上ページボタン画像ファイル名。
unsigned long	COUPageBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	CODPageBtnImg[16]	会計確認下ページボタン画像ファイル名。
unsigned long	CODPageBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	COOKBtnImg[16]	会計確認確認 OK ボタン画像ファイル名。
unsigned long	COOKBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	CODiviBtnImg[16]	会計確認割り勘ボタン画像ファイル名。
unsigned long	CODiviBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	CODiviBackBtnImg[16]	会計確認割り勘背景ボタン画像ファイル名。
unsigned long	CODiviBackBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	COUpBtnImg[16]	会計確認プラスボタン画像ファイル名。
unsigned long	COUpBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	CODownBtnImg[16]	会計確認マイナスボタン画像ファイル名。
unsigned long	CODownBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
<b>Info 画面関連</b>		
char	IIRvsBtnImg[16]	Info 画面戻るボタン画像ファイル名。
unsigned long	IIRvsBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
<b>その他</b>		
char	MSWelcomeImg[16]	メッセージ画面ようこそ画像ファイル名。

unsigned long	MSWelcomeImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSOrderNowImg[16]	メッセージ画面注文しています画像ファイル名。
unsigned long	MSOrderNowImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSOrderOKImg[16]	メッセージ画面注文を承りました画像ファイル名。
unsigned long	MSOrderOKImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSOkidaiImg[16]	メッセージ画面置き台に戻してください画像ファイル名。
unsigned long	MSOkidaiImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSOrderEndImg[16]	メッセージ画面ご注文の受付は終了いたしました画像ファイル名。
unsigned long	MSOrderEndImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSOrderEndCkBtnImg[16]	メッセージ画面ご注文の受付は終了いたしました画面での 注文内容確認ボタン画像ファイル名。
unsigned long	MSOrderEndCkBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSCheckNowImg[16]	メッセージ画面会計確認中です画像ファイル名。
unsigned long	MSCheckNowImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSItemOverImg[16]	メッセージ画面選択商品が 30 を超えました画像ファイル名。
unsigned long	MSItemOverImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSOrderErrImg[16]	メッセージ画面注文が受け付けられなかった可能性があります画像ファイル名。
unsigned long	MSOrderErrImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSJamImg[16]	メッセージ画面ただいま大変混み合っております画像ファイル名。
unsigned long	MSJamImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSAnnaiImg [16]	メッセージ画面案内画像ファイル名。
unsigned long	MSAnnaiImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSFDStopImg[16]	メッセージ画面飲み放題終了画像ファイル名。
unsigned long	MSFDStopImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSFFStopImg[16]	メッセージ画面食べ放題終了画像ファイル名。
unsigned long	MSFFStopImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	MSFLStopImg[16]	メッセージ画面時間帯メニュー終了画像ファイル名。
unsigned long	MSFLStopImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)

#### 【説明】

ここで定義される項目は、商品画像以外の画像を主に定義しています。

### 3.1.1.3. 大分類項目情報

【型名】

T\_LMENU\_INFO

【変数】

型名	変数名	解説
unsigned char	Property	この項目を表示するか否かの設定をします。 0:未使用 1:通常メニュー <del>2:飲み放題</del> (値 2 は端末内で 10 として処理されます。) 3:時間帯 <del>4:食べ放題 (レギュラー)</del> (値 4 は端末内で 20 として処理されます。) <del>5:食べ放題 (いりどり)</del> (値 5 は端末内で 21 として処理されます。) 10~17:飲み放題(1~8) 20~27:食べ放題(1~8)
unsigned char	FreeFlg	動的メニュー表示の設定をします。 (Property の 2 以降の設定値に有効) FreeType が 1 以上に設定されている場合はPropertyの通常メニューは表示されません。 0:通常メニューと同時に表示されます。 TOP 画面に放題ボタンを表示。 通常メニューボタンも表示されます。 1:通常メニューは表示しません。 TOP 画面に放題ボタンを表示。 通常メニューボタンは非表示となります。 2: 通常メニューは表示しません。 専用 TOP 画面に時間帯、放題ボタンを表示。 通常メニューボタンは表示されません。  但し、例として飲み放題が 0 (通常メニューと同時に表示)、食べ放題が 1 または 2 (通常メニューは表示しない) の場合で飲み放題、食べ放題両方同時に表示する場合は通常メニューは表示しない方を優先とします。 また、例として飲み放題が 1 (TOP 画面に表示)、食べ放題が 2 (専用 TOP 画面に表示) の場合で飲み放題、食べ放題両方同時に表示する場合は専用 TOP 画面を優先とします。
unsigned char	ScrToFrmNo	大分類スクリーンボタンを選択した場合に、どの大分類項目 (フレーム) を選択するか、対応する大分類項目番号
char	Dmy	ダミー
char	ScrBtnImg[16]	大分類スクリーン用ボタン画像ファイル名。
unsigned long	ScrBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップドレス)
char	LMFrmBackImg[16]	大分類フレーム用背景画像ファイル名。
unsigned long	LMFrmBackImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップアドレス)
char	FrmOffBtnImg[16]	大分類フレーム用ボタン画像 (未選択) ファイル名。
unsigned long	FrmOffBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップドレス)
char	FrmOnBtnImg[16]	大分類フレーム用ボタン画像 (選択) ファイル名。
unsigned long	FrmOnBtnImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップドレス)
char	MMFrmBackImg[16]	中分類フレーム用背景画像ファイル名。
unsigned long	MMFrmBackImgAddr	0 を指定します。(端末上で設定するビットマップドレス)

【説明】

大分類項目固有の設定をします。

### 3.1.1.4. 中分類項目情報

【型名】

T\_MMENU\_INFO

【変数】

型名	変数名	解説
unsigned char	Property	この属性により、この項目を表示したり非表示にしたりします。 0:未使用 1:表示
char	dmy[3]	ダミー
char	BtnOnImg[16]	中分類フレーム用ボタン画像（未選択）ファイル名。
unsigned long	BtnOnImgAddr	0 を指定します。（端末上で設定するビットマップドレス）
char	BtnOffImg[16]	中分類フレーム用ボタン画像（選択）ファイル名。
unsigned long	BtnOffImgAddr	0 を指定します。（端末上で設定するビットマップドレス）
unsigned long	SMenuNum	小分類項目数。商品ページのページ数のこと。
unsigned long	SMenuAddr	小分類ページの定義の格納アドレス（オフセット）

【説明】

中分類項目固有の設定をします。

### 3.1.1.5. 小分類項目情報、サブ小分類項目情報、店員呼び出し小分類項目情報

【型名】

T\_SMENU\_INFO

【変数】

型名	変数名	解説
unsigned char	ShowType	表示タイプ 0:セル 1:6 毎写真フレーム 2:8 毎写真フレーム 3:12 毎写真フレーム 4:24 毎写真フレーム 5:24 毎フレーム（特殊サブ機能用） 6:フリーフレーム（おすすめ機能用）
unsigned char	CMF1g	広告の表示 0:表示無し 1:表示あり
char	dmy [2]	ダミー
unsigned long	ItemNum	商品ページに割り当てられている有効なセル数、 または有効なフレーム内商品数。 関連付けされている商品セル表示情報（T_ITEM_CELL_INFO）の数、 また商品フレーム表示情報（T_ITEM_FRAM_INFO）の数となります。
unsigned long	BackColor	背景色（仕様未定）
char	BackImg[16]	商品ページの背景画像ファイル名。
unsigned long	BackImgAddr	0 を指定します。（端末上で設定するビットマップドレス）
unsigned long	ItemAddr	商品セル（フレーム）表示情報定義の格納アドレス（オフセット）。

【説明】

小分類項目固有の設定をします。



### 3.1.1.6. 商品セル表示情報、サブ商品セル表示情報

【型名】

T\_ITEM\_CELL\_INFO

【変数】

型名	変数名	解説
unsigned char	Process	<p>表示情報や処理の選択</p> <p>0: 文字無し (クリックで商品選択)</p> <p>1: 文字表示 (クリックで商品選択)</p> <p>2: インフォ表示 (クリックでインフォ画面表示)</p> <p>3: 文字表示 (クリック反応無し)</p> <p>4: 品切れ画像表示位置 (品切れでない時は、処理 0: と同じ)</p> <p>5: 動画インフォ表示 (クリックで動画インフォ画面表示)</p> <p>6: サブ画面を表示せずに商品とサブ商品を同時選択する</p> <p>7: 品切れ画像表示位置 (品切れでない時は、処理 6: と同じ)</p> <p>10: 商品を選択して完了する (サブ画面を全て抜けます)</p> <p>11: キャンセル (サブ画面を全て抜けます)</p> <p>12: 戻る (サブ画面を一つ戻ります)</p> <p>13: 商品を選択せずに次のサブ画面へ遷移</p> <p>14: 現在のテンポラリリストで商品を決める (サブ画面を全て抜けます)</p> <p>15: 商品を選択せずにサブ画面をジャンプする (仕変 MKN0032)</p> <p>16: 商品を選択してサブ画面をジャンプする (仕変 MKN0032)</p> <p>41~45: 商品を選択せずにサブ画面を 1~5 面スキップして遷移する (仕変 0392)</p> <p>46~54: 商品を選択せずにサブ画面を 6~14 画面スキップして遷移する (仕変 MKN0029)</p> <p>61~74: 商品を選択してサブ画面を 1~14 面スキップして遷移する (仕変 MKN0029)</p> <p>101: 位置調整文字表示 (クリックで商品選択) (仕変 0258)</p> <p>103: 位置調整文字表示 (クリックで反応なし) (仕変 0258)</p> <p>※1、3 は g-PANEL 以降非対応</p> <p>※4 は g-PANEL、fl-PANEL、g-HNADY のみ対応</p> <p>※5 は g-PANEL、fl-PANEL のみ対応</p> <p>※6、7 は menudb.dat 出力には未対応。CSV 構造時におすすめ機能で使用。</p> <p>※6、7 の商品属性は商品詳細情報の属性に順ずる。</p> <p>※10~14 は親商品の SubMenuFlg が 4, 5 のサブ画面内で有効</p> <p>※12 は親商品の SubMenuFlg が 1, 2, 4, 5 のサブ画面内で有効 (仕変 0163)</p> <p>※15、16 は親商品の SubMenuFlg が 5 のサブ画面内で有効。 (仕変 MKN0032)</p> <p>※41~54、61~74 は親商品の SubMenuFlg が 5 のサブ画面内で有効。 (仕変 MKN0029)</p> <p>※46~54、61~74 は特定バージョン限定機能となる。 (仕変 MKN0029)</p> <p>対象は『端末メニュー機能説明書 Rev214.doc』を参照してください。</p>
unsigned char	CellX	表示する横セル座標: 1~
unsigned char	CellY	表示する縦セル座標: 1~
char	dmy	<p>ダミー</p> <p>Process が 101, 103 の場合、位置調整文字の色が設定される。1~12 (仕変 0258)</p>
unsigned short	Text[16]	表示する文字。終端文字付きの Unicode 形式で指定します。
unsigned char	FontSize	<p>フォントの大きさ</p> <p>0: 小 1: 中 2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字 6: 特大 (仕変 0258)</p>
unsigned char	TextFrame	テキスト枠指定 0: 枠なし 1: 枠あり
char	dmy2[2]	ダミー



		Process が 101, 103 の場合、位置調整文字のオフセット座標が設定される。 dmy[0]:X 方向の offset -127~127、dmy[1]:Y 方向の offset -127~127 (仕変 0258)
long	dmy3	ダミー
long	Option	Process が 6、7 の場合 : サブ商品の商品詳細情報の格納先アドレス (オフセット値) が設定される。 Process が 15、16 の場合 : ジャンプ先のサブ小分類項目情報の格納先アドレス (オフセット値) が設定される。 その他の Process の場合 : 0 が設定される。
unsigned long	ItemInfoAddr	商品詳細情報の格納先アドレス (オフセット値)

【説明】

商品選択画面のセル表示モードで表示される、テキスト内容や、クリック情報を記載します。  
ページに必要なセルのだけ存在します。必要のないセルは定義する必要はありません。

### 3.1.1.7. 商品フレーム表示情報、店員呼び出しセル表示情報

#### 【型名】

T\_ITEM\_FRM\_INFO

#### 【変数】

型名	変数名	解説
unsigned char	Process	表示情報や処理の選択（未定）
unsigned char	CellX	表示する横セル座標：1～
unsigned char	CellY	表示する縦セル座標：1～
Char	dmy	ダミー
char	ItemImg[16]	商品写真
unsigned long	ItemImgAddr	0 を指定します。（端末上で設定するビットマップドレス）
unsigned short	NameText [32]	表示する商品名文字。終端文字付きの Unicode 形式で指定します。
unsigned char	NameFontSize	商品名フォントの大きさ 0:小 1:中 2:大 3:小太字 4:中太字 5:大太字
unsigned char	NameTextColor	商品名テキスト背景色 1.4.1 色変数対応表を参照
char	dmy2[2]	ダミー
unsigned short	PriceText[8]	表示する価格文字。終端文字付きの Unicode 形式で指定します。
unsigned char	PriceFontSize	価格フォントの大きさ 0:小 1:中 2:大 3:小太字 4:中太字 5:大太字
unsigned char	PriceTextColor	価格テキスト背景色 1.4.1 色変数対応表を参照
char	dmy3[2]	ダミー
unsigned short	TaxPriceText[8]	表示する税込み価格文字。終端文字付きの Unicode 形式で指定します。
unsigned char	TaxPriceFontSize	税込み価格フォントの大きさ 0:小 1:中 2:大 3:小太字 4:中太字 5:大太字
unsigned char	TaxPriceTextColor	税込み価格テキスト背景色 1.4.1 色変数対応表を参照
char	dmy4[2]	ダミー
unsigned short	InfoText[32]	表示する説明文字。終端文字付きの Unicode 形式で指定します。
unsigned char	InfoFontSize	説明フォントの大きさ 0:小 1:中 2:大 3:小太字 4:中太字 5:大太字
unsigned char	InfoTextColor	説明テキスト背景色 1.4.1 色変数対応表を参照
char	dmy5[2]	ダミー
unsigned long	ItemInfoAddr	商品詳細情報の格納先アドレス（オフセット値）

#### 【説明】

商品選択画面のフレーム表示モードで表示される、写真やテキスト内容を記載します。  
ページに必要な商品の数だけ存在します。必要のない商品（位置）は定義する必要はありません。

### 3.1.1.8. 商品詳細情報

【型名】

T\_ITEM\_INFO

【変数】

型名	変数名	解説
unsigned long	Code	商品コード
unsigned char	FreeFlg	フリーオーダーフラグ 0:非対応 1:対応
unsigned char	SoldOutFlg	品切れフラグ 0:あり 1:品切れ
unsigned char	MinItemNum	注文可能な最小商品数 1～ サブメニューフラグが 0～2:の時のみ有効。
char	dmy	ダミー
unsigned long	Price	価格（管理用）
unsigned long	TaxPrice	税込み価格（管理用）
unsigned short	Name[32]	商品名（管理用）
unsigned char	MenuAtt	メニュー属性（データ区分） 0:メインメニュー 1:コメントメニュー 2:サブメニュー 3:セットメニュー
unsigned char	SubMenuFlg	サブメニューフラグ 0:サブ無し 1:サブ有りで親が単独で注文不可能な商品 サブ商品を注文した数だけ親商品がカウントされる。 2:サブ有りで親が単独で注文可能な商品 3:サブ有りで親が単独で注文不可能な商品（三品系） 指定数サブを注文すると親商品が1になる。 4: 複数のサブ画面で商品を全て選択すると親商品が1になる （ファミレスサブ） 5: 複数のサブ有りで sublink.csv を参照する （サブメニューリンク） 6:サブ有りで親がダミーとなる商品 ※1～6 はサブ商品が必要 ※5 は sublink.csv が必要
unsigned char	SubItemSetNum	サブ商品セット数。 サブ画面内で注文出来る品数。 ここで設定した数の商品を選択しないと注文出来ません。 使用しない場合は 0 を設定します。 ※サブメニューフラグが 3:の時のみ有効。
char	dmy1	ダミー
unsigned long	SubMenuAddr	サブメニュー情報の格納先アドレス サブ画面がない場合は 0 を設定します。
long	CmdNo	指示ナンバー 無い場合は 0 を設定します。

unsigned long	SetItemAddr	同時にセットされる商品詳細情報のアドレス。 自動的に注文リストに加えられる商品。 無い場合は 0 を設定します。 サブメニューフラグが 3: の時のみ有効。
unsigned char	Info	商品詳細情報有無 0: なし 1: あり
char	dmy2[3]	ダミー
char	InfoImg[16]	商品詳細情報用写真
unsigned long	InfoImgAddr	0 を指定します。（端末上で設定するビットマップドレス）
unsigned short	InfoComment[128]	商品詳細情報用コメントを Unicode 形式で指定

【説明】

商品に固有な情報を設定します

### ~~3.1.1.0.~~      ~~階層コード、指示ナンバー情報（未使用）~~

#### 【型名】

T\_SUBCODE\_INFO

#### 【変数】

型名	変数名	解説
unsigned long	MCode	メイン商品コード
unsigned long	SCode	サブ商品コード
long	LayCode	階層コード
long	CmdNo	指示ナンバー

#### 【説明】

メイン商品コード、サブ商品コードの階層コード、指示ナンバーを関連づを定義します。

### 3.1.2. PC 上で作成するファイルイメージ

WindowsPC 上で作成するバイナリファイルのイメージは以下の通り。  
なお、作成されるファイル名は menudb.dat とします。

表. メニウくん DB ファイルイメージ

項目	サイズ (オフセット)	イメージ
1. ヘッダ情報	sizeof(T_MENU_HEAD) byte	T_MENU_HEAD
2. 基本情報	sizeof(T_BASIC_INFO) byte	T_BASIC_INFO
3. 大分類項目情報	sizeof(T_LMENU_INFO) × N byte N: 大分類項目数合計	T_LMENU_INFO[0] ~ T_LMENU_INFO[N-1]
4. 中分類項目情報	sizeof(T_MMENU_INFO) × N1 × N2 byte N1: 大分類項目数合計 N2: 中分類項目数合計	T_MMENU_INFO[0][0] T_MMENU_INFO[0][1] ~ T_MMENU_INFO[N1-1][N2-2] T_MMENU_INFO[N1-1][N2-1]
5. 小分類項目情報	sizeof(T_SMENU_INFO) × N byte N: 小分類項目数の合計	T_SMENU_INFO × N
6. 商品セル表示情報	sizeof(T_ITEM_CELL_INFO) × N byte N: 商品セル表示情報数の合計	T_ITEM_CELL_INFO × N
7. 商品フレーム表示情報	sizeof(T_ITEM_FRM_INFO) × N byte N: 商品フレーム表示情報数の合計	T_ITEM_FRM_INFO × N
8. 商品詳細情報	sizeof(T_ITEM_INFO) × N byte N: 商品詳細情報数の合計	T_ITEM_INFO × N
9. 階層コード、指示ナンバー情報	sizeof(T_SUBCODE_INFO) × N byte N: 階層コード、指示ナンバー情報数の合計	T_SUBCODE_INFO × N
10. サブ小分類項目情報	sizeof(T_SMENU_INFO) × N byte N: サブ小分類項目数の合計	T_SMENU_INFO × N
11. サブ商品セル表示情報	sizeof(T_ITEM_CELL_INFO) × N byte N: サブ商品セル表示情報数の合計	T_ITEM_CELL_INFO × N
12. サブ商品フレーム表示情報	sizeof(T_ITEM_FRM_INFO) × N byte N: サブ商品フレーム表示情報数の合計	T_ITEM_FRM_INFO × N
13. 店員呼び出し小分類項目情報	sizeof(T_SMENU_INFO)	T_SMENU_INFO
14. 店員呼び出し商品フレーム表示情報	sizeof(T_ITEM_FRM_INFO) × N byte N: 店員呼び出し商品フレーム表示情報数の合計	T_ITEM_FRM_INFO × N

#### 3.1.2.1. ヘッダ情報

T\_MENU\_HEAD 構造体を 1 つ格納します。

#### 3.1.2.2. 基本情報

T\_BASIC\_INFO 構造体を 1 つ格納します。

#### 3.1.2.3. 大分類項目情報

T\_LMENU\_INFO 構造体を、T\_BASIC\_INFO 型の LMenuMax 数を格納します。  
大分類項目は、若い番号順に 0～格納します。順番は変更することが出来ません。  
大分類 1、大分類 2、…、大分類 10

#### 3.1.2.4. 中分類項目情報

T\_MMENU\_INFO 構造体を、T\_BASIC\_INFO 型の LMenuMax 数×MmenuMax 数を格納します。  
中分類項目は、若い番号順に 0～格納します。順番は変更することが出来ません。  
大分類 1 の中分類 1、大分類 1 の中分類 2、…、大分類 10 の中分類 12

#### 3.1.2.5. 小分類項目情報

T\_SMENU\_INFO 構造体を、存在する全ての T\_MMENU\_INFO 型の SMenuNum 数の合計を格納します。その為、小分類項目情報の全体サイズは SmenuNum 数により可変となります。

また、各々の T\_SMENU\_INFO の書き込み順序に指定はありません。  
その為に中分類項目に小分類項目情報へのアドレスが記載されています。  
ただし、同一中分類項目の T\_SMENU\_INFO は、必ず若い番号から順に並べてください。  
これは、一つの中分類項目情報から小分類項目情報数分連続にアクセスする必要がある為です。

例：

大分類 2、中分類 5 の T_SMENU_INFO1	}	並べる必要があります。
大分類 2、中分類 5 の T_SMENU_INFO2		
大分類 2、中分類 5 の T_SMENU_INFO3		
大分類 3、中分類 1 の T_SMENU_INFO1	}	並べる必要はありません。
大分類 1、中分類 3 の T_SMENU_INFO1		
大分類 2、中分類 1 の T_SMENU_INFO1		

～

大分類 8、中分類 1 の T\_SMENU\_INFO1

※T\_SMENU\_INFO 後の数字は T\_MMENU\_INFO 型の SMenuNum 数により決定します。

#### 3.1.2.6. 商品セル表示情報

T\_ITEM\_CELL\_INFO 構造体を、存在する全ての T\_SMENU\_INFO 型（サブを除く）の ItemNum 数（ShowType で該当する ItemNum のみ）の合計を格納します。その為、商品セル表示情報の全体サイズは ItemNum 数により可変となります。

また、各々の T\_ITEM\_CELL\_INFO の書き込み順序に指定はありませんが、小分類項目毎にまとめて記載する必要があります。

これは、一つの小分類項目情報から商品セル表示情報数分連続にアクセスする必要がある為です。

その為に小分類項目情報に商品セル情報へのアドレスが記載されています。

#### 3.1.2.7. 商品フレーム表示情報

T\_ITEM\_FRM\_INFO 構造体を、存在する全ての T\_SMENU\_INFO 型（サブを除く）の ItemNum 数の（ShowType で該当する ItemNum のみ）合計を格納します。その為、商品セル表示情報の全体サイズは ItemNum 数により可変となります。

また、各々の T\_ITEM\_FRM\_INFO の書き込み順序に指定はありませんが、小分類項目毎にまとめて記載する必要があります。

これは、一つの小分類項目情報から商品セル表示情報数分連続にアクセスする必要がある為です。

その為に小分類項目情報に商品セル情報へのアドレスが記載されています。

#### 3.1.2.8. 商品詳細情報

T\_ITEM\_INFO 構造体を、T\_BASIC\_INFO 型の ItemNum 数を格納します。

#### 3.1.2.9. 階層コード、指示ナンバー情報

T\_SUBCODE\_INFO 構造体を、T\_BASIC\_INFO 型の SubCodeInfoNum 数を格納します。

#### 3.1.2.10. サブ小分類項目情報

サブの T\_SMENU\_INFO 構造体を、T\_BASIC\_INFO 型の SubSMenuNum 数を格納します。

#### 3.1.2.11. サブ商品セル表示情報

T\_ITEM\_CELL\_INFO 構造体を、存在する全ての T\_SMENU\_INFO 型（サブのみ）の ItemNum 数（ShowType で該当する ItemNum のみ）の合計を格納します。その為、サブ商品セル表示情報の全体サイズは ItemNum 数により可変となります。

また、各々の T\_ITEM\_CELL\_INFO の書き込み順序に指定はありませんが、サブ小分類項目毎にまとめて記載する必要があります。

これは、一つのサブ小分類項目情報からサブ商品セル表示情報数分連続にアクセスする必要がある為です。

その為にサブ小分類項目情報に商品セル情報へのアドレスが記載されています。



#### 3.1.2.12. サブ商品フレーム表示情報

T\_ITEM\_FRM\_INFO 構造体を、存在する全ての T\_SMENU\_INFO 型（サブのみ）の ItemNum 数の（ShowType で該当する ItemNum のみ）合計を格納します。その為、サブ商品セル表示情報の全体サイズは ItemNum 数により可変となります。

また、各々の T\_ITEM\_FRM\_INFO の書き込み順序に指定はありませんが、サブ小分類項目毎にまとめて記載する必要があります。

これは、一つのサブ小分類項目情報から商品セル表示情報数分連続にアクセスする必要がある為です。その為にサブ小分類項目情報にサブ商品セル情報へのアドレスが記載されています。

#### 3.1.2.13. 店員呼び出し小分類項目情報

T\_SMENU\_INFO 構造体を 1 つ格納します。

#### 3.1.2.14. 店員呼び出し商品フレーム表示用情報

T\_ITEM\_FRM\_INFO 構造体を、T\_SMENU\_INFO 型の ItemNum 数を格納します。

## 3.2. メニウくんDBのCSV定義

メニウくんDBは端末上で扱うバイナリ形式のファイルにする必要があるが、その際に使用するWindowsPC上で動作する専用ソフトが今現在は存在しないので、メニウくんDBのフォーマットに近似するようにExcelのCSV形式で作成し扱えるように定義する。

### 3.2.1. CSV出力方法

CSVファイルでは、項目毎に複数ファイルとして出力します。  
ファイルとしては、以下の種類を作成します。

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. ヘッダ情報ファイル             | : head.csv     |
| 2. 基本情報ファイル              | : base.csv     |
| 3. 大分類項目情報ファイル           | : lmenu.csv    |
| 4. 中分類項目情報ファイル           | : mmenu.csv    |
| 5. 小分類項目情報ファイル           | : smenu.csv    |
| 6. 商品セル情報ファイル            | : itemcell.csv |
| 7. 商品フレーム情報ファイル          | : itemfrm.csv  |
| 8. 商品詳細情報ファイル            | : iteminfo.csv |
| 9. 階層コード、指示ナンバー情報ファイル    | : subcode.csv  |
| 10. サブ小分類項目情報ファイル        | : ssmenu.csv   |
| 11. サブ商品セル表示情報ファイル       | : sitemcel.csv |
| 12. サブ商品フレーム表示情報ファイル     | : sitemfrm.csv |
| 13. 店員呼び出し小分類項目情報ファイル    | : csmenu.csv   |
| 14. 店員呼び出し商品フレーム表示情報ファイル | : citemfrm.csv |

#### 3.2.1.1. ヘッダ情報

##### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	最大大分類数 (LMenuMax)	数値	10 を指定します。 使用される最大大分類数。
2.	最大中分類数 (MMenuMax)	数値	12 を指定します。 一つの大分類項目に表示可能な最大の中分類数。

##### 【説明】

端末内でメニウくんDBを解析する際に必要となる値を定義します。

### 3.2.1.2. 基本情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
<b>大分類関連</b>			
2. 1.	大分類スクリーン用背景画像 (LMBackScrImg)	テキスト	大分類スクリーン用背景画像ファイル名。
2. 2.	大分類放題スクリーン用背景画像 (LMFBackScrImg)	テキスト	大分類放題スクリーン用背景画像ファイル名。
2. 3.	大分類スクリーン用会計確認ボタン画像 (LMCKOrderBtnImg)	テキスト	大分類スクリーン用会計確認ボタン画像ファイル名。
2. 4.	大分類スクリーン用占いボタン画像 (LMUraniBtnImg)	テキスト	大分類スクリーン用占いボタン画像ファイル名。
2. 5.	大分類スクリーン用案内ボタン画像 (LMAnnaiBtnImg)	テキスト	大分類スクリーン用案内ボタン画像ファイル名。
<b>中分類関連</b>			
3. 1.	広告画像左上 (MMCMLeftUpImg)	テキスト	広告画像左上ファイル名。
3. 2.	広告画像右上 (MMCMRightUpImg)	テキスト	広告画像右上ファイル名。
3. 3.	商品 6 フレーム用品切れ画像 (SMSoldOut6FrmImg)	テキスト	商品 6 フレーム用品切れ画像ファイル名。
3. 4.	商品 8 フレーム用品切れ画像 (SMSoldOut8FrmImg)	テキスト	商品 8 フレーム用品切れ画像ファイル名。
3. 4.	商品 12 フレーム用品切れ画像 (SMSoldOut12FrmImg)	テキスト	商品 12 フレーム用品切れ画像ファイル名。
<b>下フレーム関連</b>			
4. 1.	下フレーム背景画像 (BFBackImg)	テキスト	下フレーム背景画像ファイル名。
4. 2.	初期下フレーム背景画像 (BFStBkImg)	テキスト	初期下フレーム背景画像ファイル名。
4. 3.	下フレーム右ページボタン画像 (BFRPageBtnImg)	テキスト	下フレーム右ページボタン画像ファイル名。
4. 4.	下フレーム左ページボタン画像 (BFLPageBtnImg)	テキスト	下フレーム左ページボタン画像ファイル名。
4. 5.	下フレーム TOP ボタン画像 (BFTopBtnImg)	テキスト	下フレーム TOP ボタン画像ファイル名。
4. 6.	下フレーム店員呼び出しボタン画像 (BFCallBtnImg)	テキスト	下フレーム店員呼び出しボタン画像ファイル名。
4. 7.	下フレーム店員呼び出し閉じるボタン画像 (BFCallBtnImg)	テキスト	下フレーム店員呼び出し閉じるボタン画像ファイル名。
4. 8.	下フレーム戻るボタン画像 (BFRvsBtnImg)	テキスト	下フレーム戻るボタン画像ファイル名。
4. 9.	下フレーム注文内容確認ボタン画像 (BFCheckBtnImg)	テキスト	下フレーム注文内容確認ボタン画像ファイル名。
4. 10.	下フレーム注文内容確認終了ボタン画像 (BFCheckEndBtnImg)	テキスト	下フレーム注文内容確認終了ボタン画像ファイル名。

4. 11.	下フレームプラスボタン画像 (BFUpBtnImg)	テキスト	下フレームプラスボタン画像ファイル名。
4. 12.	下フレームマイナスボタン画像 (BFDownBtnImg)	テキスト	下フレームマイナスボタン画像ファイル名。
<b>注文画面関連</b>			
5. 1.	オーダーフレーム背景画像 (OFBackImg)	テキスト	オーダーフレーム背景画像ファイル名。
5. 2.	オーダーフレーム上ページボタン画像 (OFUPPageBtnImg)	テキスト	オーダーフレーム上ページボタン画像ファイル名。
5. 3.	オーダーフレーム下ページボタン画像 (OFDPageBtnImg)	テキスト	オーダーフレーム下ページボタン画像ファイル名。
5. 4.	オーダーフレーム注文ボタン画像 (OFOrderBtnImg)	テキスト	オーダーフレーム注文ボタン画像ファイル名。
5. 5.	オーダーフレームプラスボタン画像 (OFUpBtnImg)	テキスト	オーダーフレームプラスボタン画像ファイル名。
5. 6.	オーダーフレームマイナスボタン画像 (OFDownBtnImg)	テキスト	オーダーフレームマイナスボタン画像ファイル名。
5. 7.	品切れ注文エラーリスト背景画 (OSBackImg)	テキスト	品切れ注文エラーリスト背景画像ファイル名。
5. 8.	品切れ注文エラーリスト確認 OK ボタン画像 (OSOKImg)	テキスト	品切れ注文エラーリスト確認 OK ボタン 画像ファイル名。
<b>会計確認関連</b>			
6. 1.	会計確認背景画像 (COBackImg)	テキスト	会計確認背景画像ファイル名。
6. 2.	会計確認上ページボタン画像 (COUPPageBtnImg)	テキスト	会計確認上ページボタン画像ファイル名。
6. 3.	会計確認下ページボタン画像 (CODPageBtnImg)	テキスト	会計確認下ページボタン画像ファイル名。
6. 4.	会計確認確認 OK ボタン画像 (COOKBtnImg)	テキスト	会計確認確認 OK ボタン画像ファイル名。
6. 5.	会計確認割り勘ボタン画像 (CODiviBtnImg)	テキスト	会計確認割り勘ボタン画像ファイル名。
6. 6.	会計確認割り勘背景ボタン画像 (CODiviBackBtnImg)	テキスト	会計確認割り勘背景ボタン画像ファイル名。
6. 7.	会計確認プラスボタン画像 (COUpBtnImg)	テキスト	会計確認プラスボタン画像ファイル名。
6. 8.	会計確認マイナスボタン画像 (COWDownBtnImg)	テキスト	会計確認マイナスボタン画像ファイル名。
<b>Info 画面関連</b>			
7. 1.	Info 画面戻るボタン画像 (IIRvsBtnImg)	テキスト	Info 画面戻るボタン画像ファイル名。
<b>その他</b>			
8. 1.	メッセージ画面ようこそ画像 (MSWelcomeImg)	テキスト	メッセージ画面ようこそ画像ファイル名。
8. 2.	メッセージ画面注文しています画像 (MSOrderNowImg)	テキスト	メッセージ画面注文しています画像ファイル名。
8. 3.	メッセージ画面注文を承りました画像 (MSOrderOKImg)	テキスト	メッセージ画面注文を承りました画像ファイル名。

8. 4.	メッセージ画面置き台に戻してください画像 (MSOkidaiImg)	テキスト	メッセージ画面置き台に戻してください 画像ファイル名。
8. 5.	メッセージ画面ご注文の受付は 終了いたしました画像 (MSOrderEndImg)	テキスト	メッセージ画面ご注文の受付は終了いたしました 画像ファイル名。
8. 6.	注文内容確認ボタン画像 (MSOrderEndCkBtnImg)	テキスト	メッセージ画面ご注文の受付は終了いたしました 画面での注文内容確認ボタン画像ファイル名。
8. 7.	メッセージ画面会計確認中です画像 (MSCheckNowImg)	テキスト	メッセージ画面会計確認中です画像ファイル名。
8. 8.	メッセージ画面選択商品が 30 を 超えました画像 (MSItemOverImg)	テキスト	メッセージ画面選択商品が 30 を超えました 画像ファイル名。
8. 9.	メッセージ画面注文が受け付け られなかった可能性があります画像 (MSOrderErrImg)	テキスト	メッセージ画面注文が受け付けられなかった 可能性があります画像ファイル名。
8. 10.	メッセージ画面ただいま大変混み合っ ております画像 (MSJamImg)	テキスト	メッセージ画面ただいま大変混み合っており ます画像ファイル名。
8. 11.	メッセージ画面案内画像 (MSAnnaiImg)	テキスト	メッセージ画面案内画像ファイル名。
8. 12.	メッセージ画面案内画像 (MSFDStopImg)	テキスト	メッセージ画面飲み放題終了画像ファイル名。
8. 13.	メッセージ画面案内画像 (MSFFStopImg)	テキスト	メッセージ画面食べ放題終了画像ファイル名。
8. 14.	メッセージ画面案内画像 (MSFLStopImg)	テキスト	メッセージ画面時間帯メニュー終了画像ファイル名。

【説明】

ここで定義される項目は、商品画像以外の画像を主に定義しています。

### 3.2.1.3. 大分類項目情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	大分類項目番号	数値	大分類項目番号を指定します。
2.	属性 (Property)	数値	この大分類項目を表示するか否かの設定をします。 0:未使用 1:通常メニュー <del>2:飲み放題</del> (値 2 は端末内で 10 として処理されます。) 3:時間帯 <del>4:食べ放題 (レギュラー)</del> (値 4 は端末内で 20 として処理されます。) <del>5:食べ放題 (いりどり)</del> (値 5 は端末内で 21 として処理されます。) 10~17:飲み放題(1~8) 20~27:食べ放題(1~8)
3.	フリーオーダー種別 (FreeType)	数値	動的メニュー表示の設定をします (Property の 2 以降の設定値に有効)。FreeType が 1 以上に設定されている場合は Property の通常メニューは表示されません。 0:通常メニューと同時に表示されます。 TOP 画面に放題ボタンを表示。 通常メニューボタンも表示されます。 1:通常メニューは表示しません。 TOP 画面に放題ボタンを表示。 通常メニューボタンは非表示となります。 2: 通常メニューは表示しません。 専用 TOP 画面に時間帯、放題ボタンを表示。 通常メニューボタンは表示されません。  但し、例として飲み放題が 0 (通常メニューと同時に表示)、食べ放題が 1 または 2 (通常メニューは表示しない) の場合で飲み放題、食べ放題両方同時に表示する場合は通常メニューは表示しない方を優先とします。 また、例として飲み放題が 1 (TOP 画面に表示)、食べ放題が 2 (専用 TOP 画面に表示) の場合で飲み放題、食べ放題両方同時に表示する場合は専用 TOP 画面を優先とします。
4.	大分類項目番号 (大分類フレーム表示用) (ScrToFrmNo)	数値	大分類スクリーンボタンを選択した場合に、どの大分類項目 (フレーム) を選択するか、対応する大分類項目番号
5.	大分類スクリーン用ボタン (ScrBtnImg)	テキスト	大分類フレームに使用するボタン Jpeg ファイル名。
6.	大分類フレーム用背景画像 (LMFrmBackImg)	テキスト	大分類フレーム用背景画像ファイル名。
7.	大分類フレーム用ボタン (未選択) (FrmOffBtnImg)	テキスト	大分類フレームに使用するボタン (未選択) Jpeg ファイル名。
8.	大分類フレーム用ボタン (選択) (FrmOnBtnImg)	テキスト	大分類フレームに使用するボタン (選択) Jpeg ファイル名。
9.	中分類フレーム用背景画像 (MMFrmBackImg)	テキスト	中分類フレーム用背景に使用する Jpeg ファイル名。

【説明】

大分類項目固有の設定をします。

この項目は、大分類数連続で繰り返されます。また、使用しない項目番号も定義します。

### 3.2.1.4. 中分類項目情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	大分類項目番号	数値	大分類項目番号を指定します。
2.	中分類項目番号	数値	中分類項目番号を指定します。
3.	属性 (Property)	数値	この項目を表示したり非表示にしたりします。 0:未使用 1:表示
5.	中分類フレーム用ボタン画像 (未選択) (BtnOnImg)	テキスト	中分類フレーム用ボタン画像 (未選択) に 使用する Jpeg ファイル名。
6.	中分類フレーム用ボタン画像 (選択) (BtnOffImg)	テキスト	中分類フレーム用ボタン画像 (選択) に 使用する Jpeg ファイル名。

#### 【説明】

中分類項目固有の設定をします。

この項目は、中分類数連続で繰り返されます。また、使用しない項目番号も定義します。



### 3.2.1.5. 小分類項目情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	大分類項目番号	数値	大分類項目番号を指定します。
2.	中分類項目番号	数値	中分類項目番号を指定します。
3.	小分類項目番号	数値	小分類項目番号を指定します。（ページ番号）
4.	表示タイプ (ShowType)	数値	表示タイプを選択します。 0:セル 1:6 毎写真フレーム 2:8 毎写真フレーム 3:12 毎写真フレーム 4:24 毎フレーム 5:24 毎フレーム（特殊サブ機能用） 6:フリーフレーム（おすすめ機能用）
5.	広告の表示 (CMFlg)	数値	広告の表示を指定します。 但し、フレームでは無効です。 0:表示無し 1:表示あり
6.	背景色 (BackColor)	数値	背景色
7.	商品ページ画像 (ItemFrmImg)	テキスト	商品ページの背景に使用する Jpeg ファイル名。

#### 【説明】

小分類項目固有の設定をします。

### 3.2.1.6. 商品セル表示情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	大分類項目番号	数値	大分類項目番号を指定します。
2.	中分類項目番号	数値	中分類項目番号を指定します。
3.	小分類項目番号	数値	小分類項目番号を指定します。
4.	処理の選択 (Process)	数値	表示情報や処理の選択をします。 0: 文字無し (クリックで商品選択) 1: 文字表示 (クリックで商品選択) 2: インフォ表示 (クリックでインフォ画面表示) 3: 文字表示 (クリック反応無し) 4: 品切れ画像表示位置 (品切れでない時は、処理 0: と同じ) 5: 動画インフォ表示 (クリックで動画インフォ画面表示) 6: サブ画面を表示せずに商品とサブ商品を同時選択する 7: 品切れ画像表示位置 (品切れでない時は、処理 6: と同じ) 101: 位置調整文字表示 (クリックで商品選択) (仕変 0258) 103: 位置調整文字表示 (クリックで反応なし) (仕変 0258) ※4 は g-PANEL、fl-PANEL、g-HNADY のみ対応 ※5 は g-PANEL、fl-PANEL のみ対応 ※6、7 は menu.db.dat 出力には未対応。CSV 構造時におすすめ機能で使用。 ※6、7 の商品属性は商品詳細情報の属性に順ずる。
5.	表示する横セル座標 (CellX)	数値	表示する横セル座標: 1~
6.	表示する縦セル座標 (CellY)	数値	表示する縦セル座標: 1~
7.	表示文字 (Text)	テキスト	表示する文字を指定します。
8.	フォントの大きさ (FontSize)	数値	フォントの大きさ 0: 小 1: 中 2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字 6: 特大 (仕変 0258)
9.	テキスト枠指定 (TextFrame)	数値	テキスト枠指定 0: 枠なし 1: 枠あり
10.	オプション (Option)	数値	Process が 6、7 の場合、サブ商品の商品コードが設定される。 その他の Process の場合は 0 を設定。
11.	商品コード	数値	対応する商品コード

#### 【説明】

商品選択画面のセル表示モードで表示される、テキスト内容や、クリック情報を記載します。  
ページに必要なセルのだけ存在します。必要のないセルは定義する必要はありません。

### 3.2.1.7. 商品フレーム表示情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	大分類項目番号	数値	大分類項目番号を指定します。
2.	中分類項目番号	数値	中分類項目番号を指定します。
3.	小分類項目番号	数値	小分類項目番号を指定します。
4.	処理の選択 (Process)	数値	未定
5.	表示する横セル座標 (CellX)	数値	表示する横セル座標：1～
6.	表示する縦セル座標 (CellY)	数値	表示する縦セル座標：1～
7.	商品写真 (ItemImg)	テキスト	商品写真に使用する Jpeg ファイル名。
8.	商品名表示文字 (NameText)	テキスト	商品名表示する文字を指定します。
9.	商品名フォントの大きさ (NameFontSize)	数値	商品名フォントの大きさ 0: 小 1: 中 2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字
10.	商品名テキスト背景色 (NameTextColor)	数値	商品名テキスト背景色 1. 4. 1 色変数対応表尾を参照
11.	価格表示文字 (PriceText)	テキスト	価格表示する文字を指定します。
12.	価格フォントの大きさ (PriceFontSize)	数値	価格フォントの大きさ 0: 小 1: 中 2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字
13.	価格テキスト背景色 (PriceTextColor)	数値	価格テキスト背景色 1. 4. 1 色変数対応表尾を参照
14.	税込み価格表示文字 (TaxPriceText)	テキスト	税込み価格表示する文字を指定します。
15.	税込み価格フォントの大きさ (TaxPriceFontSize)	数値	税込み価格フォントの大きさ 0: 小 1: 中 2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字
16.	税込み価格テキスト背景色 (TaxPriceTextColor)	数値	税込み価格テキスト背景色 1. 4. 1 色変数対応表尾を参照

17.	説明表示文字 (InfoText)	テキスト	説明表示する文字を指定します。
18.	説明フォントの大きさ (InfoFontSize)	数値	説明フォントの大きさ 0:小 1:中 2:大 3:小太字 4:中太字 5:大太字
19.	説明テキスト背景色 (InfoTextColor)	数値	説明テキスト背景色 1. 4. 1 色変数対応表尾を参照
20.	商品コード	数値	対応する商品コード

【説明】

商品選択画面のフレーム表示モードで表示される、写真やテキスト内容を記載します。  
ページに必要な商品の数だけ存在します。必要のない商品（位置）は定義する必要はありません。

### 3.2.1.8. 商品詳細情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	商品コード (Code)	数値	商品コード
2.	フリーオーダーフラグ (FreeFlg)	数値	フリーオーダーフラグ 0:非対応 1:対応
3.	注文可能な最小商品数 (MinItemNum)	数値	注文可能な最小商品数 1～
4.	価格（管理用） (Price)	数値	価格（管理用）
5.	税込価格（管理用） (TaxPrice)	数値	税込価格（管理用）
6.	商品名（管理用） (Name)	テキスト	商品名（管理用）
7.	メニュー属性（データ区分） (MenuAtt)	数値	メニュー属性（データ区分） 0:メインメニュー 1:コメントメニュー 2:サブメニュー 3:セットメニュー
8.	サブメニューフラグ (SubMenuFlg)	数値	サブメニューフラグ 0:サブ無し 1:サブ有りで親が単独で注文不可能な商品 サブ商品を注文した数だけ親商品がカウントされる。 2:サブ有りで親が単独で注文可能な商品 3:サブ有りで親が単独で注文不可能な商品（三品系） 指定数サブを注文すると親商品が1になる。 4: 複数のサブ画面で商品を全て選択すると親商品が1になる （ファミレスサブ） 5: 複数のサブ有りで sublink.csv を参照する （サブメニューリンク） 6:サブ有りで親がダミーとなる商品 ※1～6 はサブ商品が必要 ※5 は sublink.csv が必要
9.	サブ商品セット数 (SubItemSetNum)	数値	サブ商品セット数。 サブ画面内で注文出来る品数。 ここで設定した数の商品を選択しないと注文出来ません。 使用しない場合は0を設定します。 ※サブメニューフラグが3:の時のみ有効。
10.	サブ小分類項目番号	数値	サブ画面を表示させるサブ小分類項目番号を 1～任意に設定します。 サブ画面がない場合は0を設定します。
11.	指示ナンバー (CmdNo)	数値	指示ナンバー。無い場合は0を設定します。
12.	セット商品コード	数値	同時に選択される商品の商品コード。 自動的に注文リストに加えられる商品コード。

			無い場合は 0 を設定します。 ※サブメニューフラグが 3: の時のみ有効。
13.	商品詳細情報有無 (Info)	数値	商品詳細情報有無 0: なし 1: あり
14.	商品詳細情報用写真 (InfoImg)	テキスト	商品詳細情報用に使用する Jpeg ファイル名。
15.	商品詳細情報用コメント (InfoComment)	テキスト	商品詳細情報用コメント

【説明】

商品に固有な情報を設定します。

2.フリーオーダーフラグ(FreeFlg)

0:非対応 1:対応

大分類が飲み放題、食べ放題から注文した商品のみ 1 を設定する

3.注文可能な最小商品数(MinItemNum)

注文可能な最小商品数 1～

サブメニューフラグが 3 の商品は強制的に 1 となる。

サブメニューフラグが 3 の商品を親に持つサブ商品も強制的に 1 となる。

全ての商品について 0 は絶対に設定しないでください。

4.価格（管理用）(Price)

追加オーダー送信時に使用します。

（メニュー編集ツールでは、フレーム作成時に参考情報として参照しています）

5.税込価格（管理用）(TaxPrice)

未使用

（メニュー編集ツールでは、フレーム作成時に参考情報として参照しています）

6.商品名（管理用）(Name)

注文画面、会計確認画面、下フレームの表示に使用します。

（メニュー編集ツールでは、フレーム作成時に参考情報として参照しています）

7.メニュー属性（データ区分）(MenuAtt)

8.サブメニューフラグ(SubMenuFlg)

0:サブ無し

1:サブ有りで親が単独で注文不可能な商品（サブ商品が必要）。

サブ商品を注文した数だけ親商品がカウントされる。

メニュー属性は必ず 0 を設定します。

サブ商品には必ずメニュー属性の 1 を含める必要があります。

メニュー属性 0 のサブ商品を同時に含めることが可能です。

2:サブ有りで親が単独で注文可能な商品

メニュー属性は必ず 0 を設定します。

サブ商品もメニュー属性が 0 の時のみ対応します。

3:サブ有りで親が単独で注文不可能な商品（サブ商品が必要）。

指定数サブを注文すると親商品が 1（のみ）になる。  
全てのサブ商品には必ずメニュー属性の 1 を設定します。  
また、サブ小分類項目情報の表示タイプを 5 に設定する必要があります。

9. サブ商品セット数 (SubItemSetNum)

サブ画面内で選択しなければならない品数。  
ここで設定した数の商品を選択しないと注文出来ません。  
サブメニューフラグが 3: の時のみ有効。使用しない場合は 0 を設定します。

10. サブ小分類項目番号

サブ画面を表示させるサブ小分類項目番号を 1～任意に設定します。  
サブ画面がない場合は 0 を設定します。

11. 指示ナンバー (CmdNo)

無い場合は 0 を設定します。

12. セット商品コード (SetCode)

この商品を指定した際に、  
自動的に注文リストに加えられる商品コード。無い場合は 0 を設定します。  
サブメニューフラグが 3 の時のみ有効です。

~~3.2.1.0.~~      ~~階層コード、指示ナンバー情報（未使用）~~

【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	メイン商品コード (MCode)	数値	メイン商品コード
2.	サブ商品コード (SCode)	数値	サブ商品コード
3.	階層コード (LayCode)	数値	階層コード
4.	指示ナンバー (CmdNo)	数値	指示ナンバー

【説明】

メイン商品コード、サブ商品コードの階層コード、指示ナンバーを関連づを定義します。



### 3.2.1.10. サブ小分類項目情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	サブ小分類項目番号	数値	サブ小分類項目番号を 1 より順に指定します。 途中にブランク番号は無いように順番に設定します。
2.	表示タイプ (ShowType)	数値	表示タイプを選択します。 0:セル 1:6 毎写真フレーム 2:8 毎写真フレーム 3:12 毎写真フレーム 4:24 毎写真フレーム 5:24 毎フレーム (特殊サブ機能用)
3.	広告の表示 (CMFlag)	数値	広告の表示を指定します。 0:表示無し 1:表示あり 但し、フレームでは無効です。
4.	背景色 (BackColor)	数値	背景色
5.	商品ページ画像 (ItemFrmImg)	テキスト	商品ページの背景に使用する Jpeg ファイル名。

#### 【説明】

サブ小分類項目固有の設定をします。

### 3.2.1.11. サブ商品セル表示情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	サブ小分類項目番号	数値	サブ小分類項目番号を設定します。
2.	処理の選択 (Process)	数値	<p>表示情報や処理の選択をします。</p> <p>0: 文字無し (クリックで商品選択)</p> <p>1: 文字表示 (クリックで商品選択)</p> <p>2: インフォ表示 (クリックでインフォ画面表示)</p> <p>3: 文字表示 (クリック反応無し)</p> <p>4: 品切れ画像表示位置 (品切れでない時は、機能 0: と同じ)</p> <p>5: 動画インフォ表示 (クリックで動画インフォ画面表示)</p> <p>10: 商品を選択して完了する (サブ画面を全て抜けます)</p> <p>11: キャンセル (サブ画面を全て抜けます)</p> <p>12: 戻る (サブ画面を一つ戻ります)</p> <p>13: 商品を選択せずに次のサブ画面へ遷移</p> <p>14: 現在のテンポラリリストで商品を決断する (サブ画面を全て抜けます)</p> <p>15: 商品を選択せずサブ画面をジャンプする (仕変 MKN0032)</p> <p>16: 商品を選択してサブ画面をジャンプする (仕変 MKN0032)</p> <p>41~45: 商品を選択せずにサブ画面を 1~5 面スキップして遷移する (仕変 0392)</p> <p>46~54: 商品を選択せずにサブ画面を 6~14 画面スキップして遷移する (仕変 MKN0029)</p> <p>61~74: 商品を選択してサブ画面を 1~14 面スキップして遷移する (仕変 MKN0029)</p> <p>101: 位置調整文字表示 (クリックで商品選択) (仕変 0258)</p> <p>103: 位置調整文字表示 (クリックで反応なし) (仕変 0258)</p> <p>※1、3 は g-PANEL 以降非対応</p> <p>※4 は g-PANEL、fl-PANEL、g-HNADY のみ対応</p> <p>※5 は g-PANEL、fl-PANEL のみ対応</p> <p>※10~14 は親商品の SubMenuFlg が 4, 5 のサブ画面内で有効</p> <p>※12 は親商品の SubMenuFlg が 1, 2, 4, 5 のサブ画面内で有効 (仕変 0163)</p> <p>※15、16 は親商品の SubMenuFlg が 5 のサブ画面内で有効。 (仕変 MKN0032)</p> <p>※41~54、61~74 は親商品の SubMenuFlg が 5 のサブ画面内で有効。(仕変 MKN0029)</p> <p>※46~54、61~74 は特定バージョン限定機能となる。(仕変 MKN0029)</p> <p>対象は『端末メニュー機能説明書 Rev214.doc』を参照してください。</p>
3.	表示する横セル座標 (CellX)	数値	表示する横セル座標: 1~
4.	表示する縦セル座標 (CellY)	数値	表示する縦セル座標: 1~
5.	表示文字 (Text)	テキスト	表示する文字を指定します。
6.	フォントの大きさ (FontSize)	数値	<p>フォントの大きさ</p> <p>0: 小 1: 中 2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字 6: 特大 (仕変 0258)</p>
7.	テキスト枠指定 (TextFrame)	数値	<p>テキスト枠指定</p> <p>0: 枠なし</p> <p>1: 枠あり</p>
8.	オプション	数値	<p>Process が 15、16 の場合:</p> <p>ジャンプ先のサブ小分類項目番号が設定される。</p> <p>その他の Process の場合:</p>

			0 が設定される。
9.	商品コード	数値	対応する商品コード ※処理の選択が 11、12 の指定時は、適当な商品コードの割り当てで構いません。 (0 を設定できないため)

【説明】

商品選択画面のセル表示モードで表示される、テキスト内容や、クリック情報を記載します。  
ページに必要なセルのだけ存在します。必要のないセルは定義する必要はありません。

### 3.2.1.12. サブ商品フレーム表示情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	サブ小分類項目番号	数値	サブ小分類項目番号を設定します。
2.	処理の選択 (Process)	数値	未定
3.	表示する横セル座標 (CellX)	数値	表示する横セル座標：1～
4.	表示する縦セル座標 (CellY)	数値	表示する縦セル座標：1～
5.	商品写真 (ItemImg)	テキスト	商品写真に使用する jpeg ファイル名。
6.	商品名表示文字 (NameText)	テキスト	商品名表示する文字を指定します。
7.	商品名フォントの大きさ (NameFontSize)	数値	商品名フォントの大きさ 0: 小 1: 中 2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字
8.	商品名テキスト背景色 (NameTextColor)	数値	商品名テキスト背景色 1. 4. 1 色変数対応表尾を参照
9.	価格表示文字 (NameText)	テキスト	価格表示する文字を指定します。
10.	価格フォントの大きさ (PriceFontSize)	数値	価格フォントの大きさ 0: 小 1: 中 2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字
11.	価格テキスト背景色 (PriceTextColor)	数値	価格テキスト背景色 1. 4. 1 色変数対応表尾を参照
12.	税込み価格表示文字 (TaxPriceText)	テキスト	税込み価格表示する文字を指定します。
13.	税込み価格フォントの大きさ (TaxPriceFontSize)	数値	税込み価格フォントの大きさ 0: 小 1: 中

			2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字
14.	税込み価格テキスト背景色 (TaxPriceTextColor)	数値	税込み価格テキスト背景色 1. 4. 1 色変数対応表尾を参照
15.	説明表示文字 (InfoText)	テキスト	説明表示する文字を指定します。
16.	説明フォントの大きさ (InfoFontSize)	テキスト	説明フォントの大きさ 0: 小 1: 中 2: 大 3: 小太字 4: 中太字 5: 大太字
17.	説明テキスト背景色 (InfoTextColor)	テキスト	説明テキスト背景色 1. 4. 1 色変数対応表尾を参照
18.	商品コード	数値	対応する商品コード

【説明】

商品選択画面のフレーム表示モードで表示される、写真やテキスト内容を記載します。  
ページに必要な商品の数だけ存在します。必要のない商品（位置）は定義する必要はありません。

### 3.2.1.13. 店員呼び出し小分類項目情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	表示タイプ (ShowType)	数値	表示タイプを指定しますが、 店員呼び出しでは 3 を指定します。 3: 12 毎写真フレーム
2.	広告の表示 (CMFlg)	数値	広告の表示を指定しますが、 店員呼び出しでは 0 を指定します。 0: 表示無し
3.	背景色 (BackColor)	数値	背景色
4.	商品ページ画像 (ItemFrmImg)	テキスト	商品ページの背景に使用する Jpeg ファイル名。

#### 【説明】

店員呼び出し小分類項目固有の設定をします。  
店員呼び出しは、複数の画面を持つことは出来ません。

### 3.2.1.14. 店員呼び出し商品フレーム表示情報

#### 【CSV 構造】

順序	項目名	種類	解説
1.	表示する横セル座標 (CellX)	数値	表示する横セル座標 : 1~
2.	表示する縦セル座標 (CellY)	数値	表示する縦セル座標 : 1~
3.	商品写真 (ItemImg)	テキスト	商品写真に使用する Jpeg ファイル名。
4.	商品名表示文字 (NameText)	テキスト	商品名表示する文字を指定します。
5.	商品名フォントの大きさ (NameFontSize)	数値	商品名フォントの大きさ 0:小 1:中 2:大 3:小太字 4:中太字 5:大太字
6.	商品名テキスト背景色 (NameTextColor)	数値	商品名テキスト背景色 1.4.1 色変数対応表尾を参照
7.	商品コード	数値	対応する商品コード

#### 【説明】

店員呼び出し画面のフレーム表示モードで表示される、テキスト内容や、クリック情報を記載します。ページに必要なフレーム数だけ存在します。必要のないフレームは定義する必要はありません。